

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.7 - 11)

<b>件名</b>	グローブボックス内フィルター落下による機器の破損	
<b>事象の概要</b>	(1) 発生場所: 機器 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋: 脱硝工程グローブボックス (2) 発生の状況 グローブボックス内のフィルター交換作業中 (3) 概要 グローブボックス内のフィルターの交換作業において、フィルターを落下させ、直下の機器を破損 *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。	
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の換気設備が稼働しているため、本事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> グローブボックス内での機器の破損であり、破損部分を適切に隔離することで、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> グローブボックス内の復旧作業にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 破損した機器の上流及び下流の工程の運転は、その中間にある一時的な貯留槽の残液量で運転継続の可否を判断する。	
<b>対応の概要</b>	(1) 破損機器の状況を確認する。 (2) 定められた作業手順に従って、フィルター及び破損した機器の交換を実施する。 (3) 定められた手順に従って、工程の運転を再開する。	
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転システムを切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時制御範囲からの逸脱等 多重防護の劣化

